

東京家政大学総合研究プロジェクト「報告会」

# ひとの生 (Life)を



## 支える学の構築

健康生活研究の東京家政大学

令和2年2月17日(月) 13:00～15:15 (開場12:30～)

東京家政大学 板橋キャンパス120周年記念館 3階 120-3C講義室

### プログラム

【主催者挨拶】 13:00～

山本 和人 学長 (東京家政大学・東京家政大学短期大学部)

### 特別レクチャー

#### 知財創造のススメ

藤本 浩 氏 (ヒューマンライフ支援機構 産学連携ディレクター／国立研究開発法人理化学研究所・産業連携部パトソン研究推進課副主幹／一級知的財産管理技能士 (特許専門事務))

### 研究報告

#### 特別なニーズ児に関する教員養成・現職教員研修用教材の開発

野澤 純子 准教授 (子ども学部 子ども支援学科)

#### 初等教育における医学教育プログラムの推進—栄養教諭を中心として—

澤田 めぐみ 教授 (家政学部 栄養学科)

#### NIRSを用いた新しい食品の開発研究

佐藤 吉朗 教授 (家政学部 栄養学科)

#### 器具を用いた口腔機能トレーニング時のNIRSによる脳内血流mapの観察

内野 美恵 准教授 (ヒューマンライフ支援センター)

### 【まとめ】

#### 今後の総合プロジェクトの進め方と来期募集テーマ

峯木 眞知子 教授 (研究支援担当 副学長／大学院 人間生活学総合研究科長／家政学部 栄養学科)

# ひとの生(Life)を 支える学の構築 講演・報告

## 特別レクチャー



### 知財創造のススメ

藤本 浩 氏

ヒューマンライフ支援機構 産学連携ディレクター  
国立研究開発法人理化学研究所  
産学連携部バトンゾーン研究推進課副主幹  
一級知的財産管理技能士（特許専門事務）

「知的財産」とは人間の創造的活動により生み出されたものをいいます。カップラーメンなどの発明（特許）のみならず、アニメなどの著作物も知的財産です。

本日は、①「産学連携のススメ」として、スポーツ飲料のVAAMを企業との共同研究を通じて実用化した例を紹介するとともに、②家政大と玉川食品とで共同開発したコンディショニング麺を例に「身近な知的財産」を紹介します。

## 研究報告



### 特別なニーズ児に関する 教員養成・現職教員 研修用教材の開発

野澤 純子 准教授

子ども学部 子ども支援学科

障害理解・インクルーシブ教育推進のための大学の知を活用した障害理解推進モデルの構築を目的としています。昨年度は、入間市の小中学校教員と本学部 教職課程学生を対象に、特別なニーズ児の理解や指導に関する研修ニーズの把握を行いました。結果に基づき、今年度は特別なニーズ児に関する研修用の教材開発に取り組みました。作成した教員研修に活用可能な短い動画教材、教材・指導のリンク集等について報告します。



### 初等教育における 医学教育プログラムの推進 —栄養教諭を中心として—

澤田 めぐみ 教授

家政学部 栄養学科

現在、小学生が医療・医学について学ぶ機会は、第3・4学年で「体の発育・発達」、第5・6学年で「心の健康やけがの防止、病気の予防」を学ぶ体育の授業が中心です。また理科の生物分野の学習は、その基礎となりますが、いずれも非常に限られた時間内での学習にとどまっています。そこで我々は、小学校での健康教育の充実を目的に、食育の環として消化吸収等の医学的基礎的知識が習得できるよう栄養教諭を支援するプログラム（映像教材等）の作成に取り組んでいます。本日はその一部をご紹介します。



### NIRSを用いた 新しい食品の開発研究

佐藤 吉朗 教授

家政学部 栄養学科

本来我々は舌の感覚器である味蕾を通して味を判断しますが、場合によってその食品のにおいにより判断する場合もあります。味噌はしょっぱいという潜在意識があるため我々は味噌の香りを嗅ぐとその食品はしょっぱいと誤認してしまいます。これを利用し味噌の香気成分（無味）を減塩したみそ汁に添加し、減塩みそ汁を作ろうとするものです。

NIRSを使用し、脳血流を測定し官能的にだけでなく、機器的に我々の脳の反応を明らかにします。



### 器具を用いた口腔機能 トレーニング時のNIRSによる 脳内血流mapの観察

内野 美恵 准教授

ヒューマンライフ支援センター

よく噛めない、飲み込みづらい、滑舌が悪くなる等の口腔機能の低下をオーラルフレイルといい、全身フレイル（虚弱）の入口であることが指摘されています。器具を用いた口腔機能トレーニングにより舌圧を改善させることで、嚥下機能のみならず、全身機能である筋肉量が改善される可能性が示唆されているが、そのメカニズムについては未だ解明されていません。口腔機能トレーニング実施時の脳内血流について、NIRSによる脳内血流mapを観察した結果を報告します。